

2019年5月14日

各 位

会 社 名 前 田 建 設 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 前 田 操 治
(コード番号 1824 東証第一部)
問 合 せ 先 総 合 企 画 部 長 坂 口 伸 也
(TEL 03-5276-5131)

『中長期経営計画「Change!」』策定に関するお知らせ

前田建設工業株式会社（本社：東京、社長：前田操治）は、2019年度から2028年度までの10か年を対象とする『中長期経営計画「Change!」』を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中長期経営計画策定の主旨

当社は、2019年に創業100周年を迎えたことを機に、次の100年に向けた永続的な成長を実現するための「新たなMAEDAの企業像」を策定しました。そして、この新たな挑戦を着実に実行するため、次の10年「NEXT10」で目指す姿を描くとともに、そのロードマップを策定いたしました。

新たなMAEDAが「NEXT10」で目指す姿とは、請負と脱請負の融合による「総合インフラサービス企業」への転換であります。この「総合インフラサービス企業」とは、請負を軸とした上下流すべての事業領域を拡大・強化することで利益の源泉であるエンジニアリング力をさらに強化しつつ、脱請負を軸としたあらゆるプロジェクトへの対応・拡大による新たな建設サービスの発展を目指すものです。そして、その実現により「あらゆるステークホルダーから信頼獲得を実現する企業」の達成を目指して参ります。

さらに、次の100年「NEXT100」を見据えた新たなMAEDAの挑戦は、永続的な成長に向けて安定かつ高収益体質を構築するとともに、世界中の社会課題を解決することで、すべてのステークホルダーからの信頼獲得に照準を合わせて参ります。

この実現のため、2019年度を初年度とする3か年の中期経営計画「Maeda Change 1st Stage '19-'21」を策定いたしました。

次の100年「NEXT100」、次の10年「NEXT10」の目指す姿とともに、3か年中期経営計画「Maeda Change 1st Stage '19-'21」における業績目標及び重点施策等は、以下の通りです。

2. 業績目標

当中期経営計画の最終年度である2021年度の業績目標を以下のように定めました。

連 結		個 別	
	2021 年度		2021 年度
売上高	5,200 億円	売上高	4,050 億円
営業利益	380 億円	営業利益	305 億円
営業利益率	7.3%	営業利益率	7.5%

なお、業績目標については、每期ローリングしていきます。

3. 目指す姿と重点施策

当中長期経営計画の業績目標達成に向けて、以下の重点施策を策定いたしました。

I. 「NEXT100」で目指す新たなMAEDAの企業像

CSV経営の継続的实施により、下記の項目の実現を目指します。

- ・永続的な成長
- ・安定かつ高収益体質
- ・すべてのステークホルダーからの信頼
- ・世界中の社会課題の解決

II. 「NEXT10」で目指す姿

「NEXT100」からのバックキャストにより、下記の姿を目指します。

- ①請負と脱請負の融合による、総合インフラサービス企業
- ②経営基盤の強化による、あらゆるステークホルダーから信頼獲得を実現する企業

III. 「NEXT10」における重点施策

10年後の目指す姿を実現するため、下記の項目を重点施策に掲げています。

- ①生産性改革：付加価値生産性No.1の実現
- ②脱請負事業の全社的推進：建設事業との融合による新たなビジネスモデルへの進化
- ③体質改善：持続的成長を遂げる企業体質・文化への昇華

IV. 「Maeda Change 1st Stage '19-'21」における重点施策

「NEXT10」における重点施策を実現するため、1st Stageである最初の3か年では、下記の項目に取り組みます。

- ①生産性改革：付加価値生産性向上への基盤構築
- ②脱請負事業の全社的推進：新たなステージへの挑戦に向けた脱請負事業の拡大
- ③体質改善：新たな企業文化への変革に向けた土台構築

以 上